



八田中学校第 29 回「秋桜祭」を終えて

★★ 一人ひとりが精一杯取り組み、
それを仲間が認め、
その大切さを学びました ★★



八田中学校の生徒たちが主体の大きな行事である学園祭(第 29 回「秋桜祭」)がおわり、約二週間が過ぎました。そして、9月も終わろうとしています。

今年度の学園祭も、生徒一人ひとりが主役となり、全員で協力する喜びを体感し、それぞれが自分なりの感動を得ることができたのではないのでしょうか。

平成 30 年度の生徒会活動スローガン『一花繚乱』の下、全校皆が「秋桜祭」への取組を通して、一人ひとりが自分の最大限の力を発揮し、その力を全校皆であわせ、大きな力となり、目的を達成して成果をあげることができました。

ところで、学校教育活動の行事のねらいは、生徒一人ひとりの自主的な活動の中で、自らの活動の場を見つけ、自分を生かすことにあります。そして、一人ひとりが共通の目標に向かって、全員で協力して行事を創り上げることです。生徒たちは、文化的な取り組み活動の体験を通す中で、創造力を養うことができたと思います。また、体育的な取り組み活動の経験を通す中で、学級での勝つための作戦会議(話し合い)や練習を協力して行うことにより、学級の団結を深めることができたと思います。このように、本校の生徒たちは、「秋桜祭」という行事を通して、自らの存在価値を見出し、全員で協力することの喜びを体験し、その大切さを学ぶことができました。

そして、生徒会活動スローガンに込められた、「八田中伝統の三本の木をさらに成長させたい。」という、生徒たち一人ひとりの思いによって、八田中学校の伝統をさらに発展させることができたと思います。

そこで、私たち教職員は、生徒一人ひとりの成長を感じることでできた「秋桜祭」でした。中学生の時期は、人格の基礎をつくる時でもあり、中学時代にしなくてはならないこと、中学時代でできないことを、一つ一つ積み重ねさせることのできる、「教職員も生徒も一人ひとりが『気づき、考え、実行する。』の日々の教育活動」に引き続き取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様におかれましては、第 29 回「秋桜祭」の実施に際しまして、様々なご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。また、当日は、多くの保護者や地域の皆様に参観していただき、誠にありがとうございました。

今後も、本校の学校教育活動へのご理解をいただき、生徒たちの活動を支えていただけますよう、お願いいたします。

★★ 「= White ~桜(あか)・蒼(あお)・翠(みどりの輝くヒカリ~ =」の一コマです ★★



生徒たちは、
団結力を見せてくれました！

演技があり、
競技があり、ユーモアがありました！

様々なパフォーマンスが見られました！